

## 「前へ」

校長 前田 達彦

本校のラグビー部が九州大会に出場するという事は、大変名誉なことです。

長崎県の高校ラグビーの歴史を調べてみると、高校に初めてラグビー部が創部されたのは、島原高校であると聞きました。その島原高校は、1951年に、県の高総体で優勝をしています。そして、その3年後の1954年、本校が同じく県高総体で見事優勝を果たした、という歴史があります。

島原高校・島原農高のラグビー部は、ともに先輩方の輝かしい実績と歴史・伝統があるということです。その2校が今年は合同チームという形でタッグを組み、10人制ラグビーの県新人大会で準優勝という快挙を成し遂げました。大変素晴らしいことです。

ラグビーに情熱を燃やし、これまで厳しく、そして苦しい練習にも耐え、かつ、合同チームでありながら心をつなげて、いわゆる「ワンチーム」となって、壮絶な戦いを制してきました。

九州大会では、長崎県代表として活躍してくれるものと期待しています。どうか、監督や指導して下さった先生方を信じて、また、仲間を信じて、最後まで諦めない「島農魂」をもって頑張ってもらいたいと思います。また、いつも家族をはじめ、多くの方々の応援や支えを受けているわけですから、そのことをしっかりと心に刻んで、常に感謝の気持ちを持って試合に臨んでほしいと思います。



ここに書いた「前へ」という言葉は、大学ラグビーの名門であり強豪校でもある明治大学ラグビー部の元監督であった北島忠治さんの名言です。あまりにも有名で、私も大好きな言葉です。

**かわして乗り越えられるなら、それでいいけれども、本当に大きくて深刻な問題に直面した時、体当たりして乗り越えるしかない。とにかく「前へ」、ためらわず「前へ」。**

この北島さんの言葉は、ラグビー界のみならず、人生における教訓として心に響きます。この言葉をラグビー部に贈り、校長からの激励の言葉といたします。

(ラグビー部九州大会出場壮行会 校長挨拶より抜粋)